

1





2

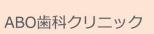
今回の動画の内容

咀嚼筋を緩めることで得られる美容的効果について

グローブを装着したままで行う、ABO式の鍼の打ち方を実演

歯科医師・医師が違和感なく行える、 はり治療

はり治療 1回目・5回目の 結果発表!





5

ロ内炎の患者様に漢方薬を 出すとしたら

・ツムラ14:半夏瀉心湯

・ツムラ120:黄連湯

・ツムラ135:茵蔯蒿湯

• コタロー: 平胃散

グローブを着けて行う はり治療を公開!



ついに放映開始されました! 小顔・ほうれい線・目の変化に 注目して動画をご覧ください!

6

口内炎とは・・・

- 口の中の炎症と理解すると応用がしやすい
- 口角炎・・・熱の華

胃腸に炎症がある時、口腔内にも症状が出る、 口内炎・口角炎・舌炎として症状が出る

7

初心者が半**夏瀉心湯**(はんげしゃしんとう)を 使いやすく、結果も出やすい理由

明確な身体所見(みぞおちのつかえ)で 見抜きやすい

半夏瀉心湯は「心下痞(しんかひ) = みぞおち のつかえ感」がある人に使う薬です。

9

構成生薬の役割がはっきりしていて、 理屈が理解しやすい

・半夏:胃内の水分(痰飲)を除く =つかえ感を取る

•黄連•黄芩:

上部の熱(胃熱・ロ内炎・イライラ)を冷ます

•乾姜·人参·甘草:胃腸を温めて回復させる

幅広い症状に対応しやすい (胃腸・ロ・感情)

胃の不快感(もたれ・つかえ・ゲップ)

嘔吐・吐き気

口内炎•口臭

下痢と軟便を繰り返す
ストレスがかかるとすぐ胃にくる

10

効果が早く出やすく、実感を得やすい

「飲んだその日から胃のつかえが軽くなった」 「3日で口内炎が引いた」

「下痢と便秘の交互が落ち着いた」

といった、<mark>体感的な変化が比較的早く現れる</mark>ため、初心者でも「効いた」という自信がつきやすい。

→ 経験を積むうえで非常に重要な「成功体験」を得やす い漢方薬といえます。

副作用が少なく 失敗してもダメージが少ない

半夏瀉心湯は、構成生薬のバランスが良く

過剰な補い・過剰な瀉し(下し)が少ない処方です。

体力が中等度以下の患者でも使いやすく、

多少の証のズレがあっても極端な副作用になりにくい。

→ つまり、「外しても大きく崩さない」処方であり、初心 者でも安心して使えるのです。

13

半夏

中脘(ちゅうかん)[任脈]:胃の中心部にあたり、 心下痞(みぞおちのつかえ)を緩和します。

豊隆(ほうりゅう)[足の陽明胃経]:痰湿の排出 を助けます。

内関(ないかん)[手の厥陰心包経]:吐き気・胸 苦しさ・情緒性の不快感を調整します。

半夏

・ 半夏は、痰飲(体内の余分な水分)を除き、胃の中に停滞した水や気を下に降ろして「つかえ」や「吐き気」を取り除く働きがあります。この生薬は、主に「胃経・肺経・脾経」に帰経します。

14

黄芩

黄芩は、胆・胃・肺にこもった「熱」や「炎症」を冷まし、特に中焦(胃腸)における湿熱を抑える働きがあります。

帰経は「肺経・胆経・胃経・大腸経」です。

黄芩

陽陵泉(ようりょうせん)[足の少陽胆経]:胆の 熱や緊張(肋骨下の張り)を取ります。

内庭(ないてい)[足の陽明胃経]:胃熱・口内 炎・口苦の緩和に優れます。

外関(がいかん)[手の少陽三焦経]:少陽の気 の流れを整え、肝胆の気滞を調節します。

黄連

・ 黄連は心火や胃熱を冷まし、みぞおちのつかえや灼熱感、口内炎、下痢などを改善します。 帰経は「心経・胃経・肝経」です。

17

黄連

中脘(ちゅうかん)[任脈]:胃熱による胃痛や灼熱感を冷まします。

内庭(ないてい)[足の陽明胃経]:胃腸に上がった熱(口臭・口内炎など)を下げます。 神門(しんもん)[手の少陰心経]:心火を鎮め、 イライラや不眠を緩和します。 18

乾姜

乾姜は体を内側から温め、胃腸の冷えや寒湿による下痢・食欲不振・腹部の冷えを改善します。

帰経は「心経・肺経・脾経・胃経」です。

19

乾姜

関元(かんげん)[任脈]:身体全体の陽気を補い、 寒気を改善します。

足三里(あしさんり)[足の陽明胃経]:胃腸を温めて働きを高めます。

中脘(ちゅうかん)[任脈]:胃内の冷えや停滞を 取り除く要穴です。

21

人参

太白(たいはく)[足の太陰脾経]:脾の原穴で、 消化吸収力を高めます。

三陰交(さんいんこう)[足の太陰脾経]:脾・肝・ 腎を同時に補い、女性の脾虚にも有効です。

足三里(あしさんり)[足の陽明胃経]:胃腸の働きを全体的に底上げします。

人参

人参は脾胃を補い、食欲不振や消化力の低下、 疲労感を改善します。気虚体質の基本処方に よく使われます。

帰経は「脾経・肺経」です。

22

24

甘草

甘草は諸薬を調和し、脾を補いながらも痛みや 緊張、不安を和らげる作用があります。

帰経は「脾経・胃経・肺経・心経」です。

甘草

太白(たいはく)[足の太陰脾経]:脾気を補い、全体の調和に役立ちます。

神門(しんもん)[手の少陰心経]:精神的な緊張を 緩和します。

内関(ないかん)[手の厥陰心包経]:心と胃のつかえを同時に緩和し、ストレスによる不調にも対応します。

25

1日目:食べ放題・飲み放題の直後

平胃散(へいいさん)

理由:

・ 暴飲暴食による「胃内の停滞(食積)」と「水湿 の溜まり(脾の運化低下)」をまず取り除く。

まず余分なものを"掃除する"段階。食べ物をさばく=攻めの漢方。

食べ過ぎ・飲み過ぎ後の 体調ケア

• 歯科保険適応漢方薬を利用して・・・

26

2日目: 胃のもたれはやや軽くなるが、 みぞおちにつかえ感/下痢ぎみ】

半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)

理由:

- みぞおちがつかえて、胃がスッキリしない
- 「胃に熱と水が混在し、気が上下に乱れている状態」を整える。

平胃散で"胃の中"を掃除したら、次は"胃の働き"を立て直す=整える漢方。

3日目: 胃のつかえはとれたが、体が 重だるく疲れやすい

補中益気湯(ほちゅうえっきとう)

理由:

- 暴飲暴食・寝不足で、気力や消化力が消耗している
- 脾胃を中心に気を補い、疲労・だるさを解消する

「取り除き→整えた」あとに、「補う」フェーズ。胃腸 の回復と気力の再建。

29

食べ過ぎ・飲みすぎ後の、漢方薬の 驚きの効果を自ら体験して・・・

- 食べ過ぎ・飲み過ぎは身体によくない!
- 反省する事!(これが一番大切)
- 次の日には忘れている・・・・ 煩悩・合掌

4日目以降:少し寒気·食欲不振·お腹がゴロゴロするなどの名残がある

五苓散(ごれいさん)

理由:

- 暴飲暴食で脾胃が弱ると、水分代謝が悪化し、むく み・だるさ・頭重・下痢などを起こす
- 胃腸の「水はけ」を改善し、全身の余分な湿を整える
- 飲み過ぎた後のむくみ、食欲不振、二日酔い傾向にも対応。

水の巡りを整えて、体調の"微調整"。体をスッキリ戻 す役目。